

午後Ⅱ試験

全問共通

システム監査技術者試験では、問1でデータ利活用基盤の構築について、問2でサイバーセキュリティ管理態勢について、システム監査人としての見識や能力などを問うているが、問題文の趣旨又は設問の内容に沿っていない論述が散見された。また、監査手続が不十分であったり、論文の体裁になっていなかったりする解答も目立った。システム監査の基本を理解した上で、自らの経験と考えに基づいて、論述するように心掛けてほしい。

問1

問1では、個別システムにおけるデータ整備や旧システムからのデータ移行などについての論述が目立った。設問アで求めたデータ利活用基盤の概要では、構築理由の記述が不十分な解答が散見された。設問イでは、データセキュリティに関わるリスクの記述が多く、複数の情報システムなどから収集するデータの品質に関わるリスクについて記述できている解答は少なかった。設問ウで求めた監査手続では、入手すべき監査証拠が具体的でなかったり、監査手続になっていなかったりする記述が散見された。問題文の趣旨を踏まえて、具体的に論述してほしい。

問2

問2では、“サイバーセキュリティ管理態勢”について求めているが、“体制”や“個別システム”、“個別プロジェクト”についての論述が目立った。設問アでは、“態勢”が必要となる理由が不十分な解答が多かった。設問イで求めたサイバーセキュリティ管理態勢におけるPDCAサイクルの適切性では、PDCAそれぞれについて記述している解答は少なく、PDCAの一部についての記述であったり、一般的な情報セキュリティの内容や脆弱性対策など技術的対策に偏った内容であったりする解答が目立った。設問ウでは、インシデント発生時を想定した態勢について論述していない解答が散見された。設問で求めている内容を踏まえて、具体的に論述してほしい。